

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 丸岡地区

平成28年3月

福井県坂井市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	丸岡城を訪れる観光客数	人/年	319,700	333,700	345,600	確定 見込み	●	○	あり なし	371,400	H27年4月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値を超えた昨年度評価値よりも更に増加しており、順調に推移している
指標2	地域交流センターの利用回数	回/年	2,007	2,340	3,300	確定 見込み	●	○	あり なし	3,661	H27年4月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	昨年度実績よりは減少したものの、目標値・評価値(トレンド推計による)を上回っている
指標3	丸岡城周辺まちなかの歩行者等数	人・台/日	218	273	303	確定 見込み	●	○	あり なし	360	H27年11月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値を超えた昨年度評価値よりも更に増加しており、順調に推移している
指標4						確定 見込み			あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1					確定 見込み								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	魅力的な観光地としての環境の維持	①「一筆啓上日本一短い手紙の館」、「お天守前公園」の完成 ・「古城まつり」の開催 ・「紅葉まつり」、「七夕まつり」のイベント開催 ・朝市開催時に雑貨・スイーツ販売ブースが新出店 ・丸岡城「おもてなし茶席」を新設 ②丸岡城魅力発掘PRの写真コンテストの開催 ③丸岡城下への路線バス、バス停設置検討 ④丸岡城駐車場看板の改修 ⑤観光バス駐車場の位置変更を検討 ⑥丸岡城国宝化推進室の設立(H27.9月)	①来訪者及び滞在時間の増加 ②H28.7月まで募集 ③ルート変更と一筆啓上茶屋前駐車場にバス停を設置予定 ④駐車場入り口の視認性が向上した ⑤観光バス駐車場(手紙の館)の誘導看板設置予定 ⑥国宝化に向けた資料・情報を収集中	継続的な取り組みの実施とPR強化
	地域住民の交流の促進	・ホールを活用した広域的な事業(文化祭・各種推進大会等)の実施 ・用途に合わせて部屋を利用できるよう、コミュニティセンター運用の実施	・利用者の増加、大会等による交流から自主グループが創設 ・利用者の増加、より効果的な活動により利用団体の活性化	継続的な取り組みの実施とPR強化
	道路の歩行安全性の維持	・お天守前公園に接道している市道舗装の改善 ・お天守前公園内及び道路照明を兼ねた照明灯の設置 ・県道の車道・歩道の改修(県道勝山丸岡線)	道路環境及び安全性の向上	地域住民のモラルの維持、観光客への注意喚起
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	魅力ある観光スポットの創出	「一筆啓上 日本一短い手紙の館」や「お天守前広場」を整備	「一筆啓上 日本一短い手紙の館」は開館以降約40日で4,000人を超える入館者があった	周辺観光スポットとの連携や効果的なPR
	お天守前公園の多目的スペース等を活かしたイベントや地域交流の企画等	①古城まつりのイベント会場 ②地元企業等で企画した「七夕まつり」のイベント会場 ③「丸岡城下ウォークラリー」の開催(ルートに取込み)	①②来訪者の増加 ③親子ら約120人の参加し城下町を探索	利用促進に向けたPR強化
	個々の店舗オーナーによる商店街の活性化に繋がる企画・仕掛け等	・道路美装化に合わせた飲食店の新規オープン・リニューアル ・既存のイベント(朝市、七夕まつり)への出店	若い世代にも新たな来客、出店が広がっているように感じられる	まちづくり・イベントに関わる組織と商店街・個店オーナーとの連携体制の構築や機会づくり
	地域交流センターの利用促進による、地域住民の交流機会の増加	創設された自主クラブによる各種講座の実施 ・高塚コミセン ・たかむくのまちづくり協議会 歴史文化部会 「丸岡城の魅力」講演会の実施 ・丸岡コミセン(城のまち会館) 城のまちまちづくり協議会 城丸部会 丸岡城学習会の継続実施	より地域に密着した講座等の実施により交流の機会が増えている	実施している講座のPR強化
	まちなかの回遊性向上につながる案内表示の促進	観光スポットや主要動線を網羅するよう案内板を設置	丸岡城を訪れた観光客が周辺の観光スポットも訪れており、回遊性が向上している	観光客のニーズを念頭に置いた、まちなかの魅力向上
	丸岡城周辺で行われるイベント時の駐車場の確保	毎年古城まつりには、城東グラウンドを臨時駐車場に使用	年間数時間程度のピーク時に限り、臨時駐車場も満車で駐車できない車が発生する	イベント周知に合わせた駐車場案内の徹底

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地域住民が主体となったまちづくり活動やPR強化	地域のまちづくりを主導する住民組織を中心に、関連組織と連携してまちづくり活動やPRを継続的に実施していく	継続的に	まちづくりを主導する地域住民組織の育成、まちづくりの進め方についての地域住民の共通認識の形成、多様な地域住民組織の連携・取り組み体制の構築

# 都市再生整備計画

まるおかちく  
丸岡地区

ふくい さかいし  
福井県 坂井市

平成28年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福井県	市町村名	坂井市	地区名	丸岡地区	面積	274 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

### 目標

- 大目標 丸岡地区のシンボルである丸岡城を活かしたにぎわいのあるまちづくり  
 目標 1 丸岡城下を整備し地区としての魅力を高め、丸岡城を核とした賑わいづくりを図る。  
 目標 2 道路整備により観光客、地域住民の安心快適性の向上を図る。  
 目標 3 協働のまちづくりを支える環境を整備し、地域のコミュニティーの活性化を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

当地区は、天正4年(1576年)築城の日本最古の天守閣を有する丸岡城を中心とした城下町として発展し、丸岡地区の歴史、商業、文化の交流の拠点として発展してきた。しかし、現在では、モータリゼーションの進展に伴う商業施設の郊外展開及び隣接する福井市大和田地区等へ顧客が流失し中心市街地は空洞化し、昔のようなまちの賑わいが薄れてきている。また、平成17年の平成の大合併で4町が合併し坂井市が誕生したが、旧丸岡町役場周辺については市役所本庁舎が他の場所に設置され、総合支所としての機能が残るのみで今までの旧丸岡町時に比べ市民が訪れたり、市民同士が顔をあわせる機会が減ってきている。そのため、今後求められる市民活動による地域活性化に必要な市民同士の交流及び連帯感が薄れてきている。丸岡地区内には、丸岡城を中心として観光・地域交流拠点としての価値の高い施設が地区内に多くあるが、それぞれが点在しており相互の連携がとれていない状況で、一体性が乏しい状況となっている。このような状況を踏まえ、当地区については「坂井市都市計画マスタープラン(平成20年4月)」などの上位計画では、「伝統的な市街地環境を活かしたにぎわいのある市街地づくり」と整備目標を掲げ、城下町らしい街なみの形成や、丸岡城周辺を訪れる観光客を市街地に呼び込み地域の活性化を図り街づくりを進めることが示されている。また、交通ネットワークの整備方針としては丸岡城周辺から丸岡総合支所等の公共施設が集積する一帯を安心快適歩行エリアとして位置づけ、城下町の雰囲気を感じながら歩くことが出来る交通環境の整備を図ると示されている。

#### 課題

- ・城下町のまちなか観光に取り組む上で、魅力ある観光スポットの創出、観光拠点に磨きをかけるとともに観光客が近隣の商店街を回遊できるルートの整備が必要である。
- ・地域活力向上のため地域住民交流の中心となる交流施設が必要である。
- ・地域の観光・地域交流の拠点を結ぶ導線の確保が必要である。
- ・観光客及び地域住民が安心快適に歩行できるように地域内の道路等を整備することが必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### ○坂井市都市計画マスタープラン

##### 丸岡市街地の整備充実イメージ

「伝統的な市街地環境を活かしたにぎわいのある市街地づくり」

・「丸岡城周辺を訪れる観光客との交流を図り、暮らしやすくにぎわいのある市街地環境の形成」、「観光客を呼び込むため田島川の水辺や一筆啓上賞作品を活かした散策路や景観ポイントを整備するなど散策環境整備」

##### 交通ネットワーク整備方針

「安心快適歩行エリアの実現」

・市街地内の丸岡城周辺や丸岡図書館、総合支所、ハスターミナル等の公共施設が集積する一帯を「安心快適歩行エリア」として位置づけ、城下町の雰囲気を感じながら歩くことが出来る交通環境の整備」

「協働のまちづくりを支える環境整備」

・NPO、まちづくり協議会等の交流・連携を促進する市民活動の拠点整備

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
観光客数	人/年	丸岡城を訪れる観光客数	丸岡城の西側入口周辺を整備することにより、観光客数の増加を見込む	319,700人/年	H20	H26
地域交流センターの利用回数	回/年	地域団体の地域交流センターを利用する回数	地域交流センターの整備を行い、地域住民活動等で使用する会議室等の利用回数増加を見込む	2,007回/年	H20	H26
歩行者・自転車通行量	人/日	丸岡城周辺まちなかの歩行者・自転車通行量	丸岡城西側市道の歩行者の歩行者数の増加を見込む(休日の歩行者・自転車通行)	218人・台/日	H21	H26

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1:丸岡城への観光客を街なかへ誘導しにぎわいのあるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光の拠点「丸岡城」と地区内に点在する観光・地域の交流施設を結ぶ道路の美装化、地区内に案内板等の整備を図り観光客を市街地へ誘導しやすい環境整備を行う。</li> <li>丸岡城より地区内の観光・地域の交流施設への誘導の起点となる丸岡城正面入口(西側入口)周辺の景観を向上させるため、城下町としての歴史的雰囲気や漂う広場整備を行う。</li> <li>丸岡城周辺の景観向上を図るため、個人住宅、商店等への助成及び公共施設の景観に配慮した建築物への改修等を図り歴史的雰囲気が感じられる街なみの形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高質空間形成施設(基幹事業/市道西瓜屋上石城戸線他7路線)</li> <li>地域生活基盤(基幹事業/広場整備)</li> <li>地域生活基盤(基幹事業/案内板)</li> <li>地域創造支援事業(提案事業/観光交流センター:一筆啓上手紙資料館建設)</li> </ul>
<p><b>整備方針2:安心安全なまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区内の丸岡城周辺、丸岡図書館、丸岡総合支所、ハスターミナル等の公共公益施設が集積する一体を「安心快適歩行エリア」として位置づけ、城下町の雰囲気を感じながら歩くことが出来る環境整備を行う。</li> <li>丸岡城を訪れる観光客が街中を散策したり、地域住民が安心快適に歩行できる地域内の道路を整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路(基幹事業/市道西瓜屋上石城戸線他6路線)</li> <li>関連事業(地域活力基盤創造交付金/市道新聞朝陽線)</li> </ul>
<p><b>整備方針3:市民協働によるまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活力向上、市民協働によるまちづくりのため、地域交流・地域活動の中心となる施設の拡充を図るため、丸岡総合支所の現在空きスペースとなっている空間を地域交流センター、文化ホールとして整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存建造物活用(基幹事業/地域交流センター)</li> <li>地域創造支援事業(提案事業/高棕公民館取壊し事業)</li> </ul>

### その他

- 都市再生整備計画事業の計画の管理について
- ・交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、市役所とまちづくり協議会が事業の進め方の改善等を行うための協議を実施する。
- 事業終了後の継続的なまちづくり活動
- ・当地区では地域自治会を中心としたまちづくり協議会を組織している。協議会における協議に基づき、まちの維持・管理活動等を継続的に広報で知らせ、市民に対し啓発活動を行う予定である。

